

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年4月13日

**【四半期会計期間】** 第4期第2四半期(自平成23年12月1日至平成24年2月29日)

**【会社名】** グローウェルホールディングス株式会社

**【英訳名】** GROWELL HOLDINGS CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 高田 隆右

**【本店の所在の場所】** 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地 神田須田町プレイス3階

**【電話番号】** 03-5207-5878(代)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

**【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田須田町一丁目9番地 神田須田町プレイス3階

**【電話番号】** 03-5207-5878(代)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役兼執行役員グループ経営管理本部長 佐藤 範正

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第3期 第2四半期 連結累計期間	第4期 第2四半期 連結累計期間	第3期
会計期間		自平成22年9月1日 至平成23年2月28日	自平成23年9月1日 至平成24年2月29日	自平成22年9月1日 至平成23年8月31日
売上高	(百万円)	129,144	141,689	270,816
経常利益	(百万円)	4,891	5,752	11,390
四半期(当期)純利益	(百万円)	1,914	2,646	4,544
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	1,981	2,774	4,713
純資産額	(百万円)	34,910	39,779	37,349
総資産額	(百万円)	100,013	108,834	106,271
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	103.61	143.25	245.92
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	33.8	35.4	34.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	863	878	11,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,343	4,896	4,621
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,168	1,771	6,823
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(百万円)	7,164	8,759	11,005

回次		第3期 第2四半期 連結会計期間	第4期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自平成22年12月1日 至平成23年2月28日	自平成23年12月1日 至平成24年2月29日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	71.32	74.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第3期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
5. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により回復が一部に見られるものの、欧州経済不安による円高の進行や不安定な雇用情勢などの先行きの不透明感から、消費者の生活防衛意識が高く、引き続き低価格志向型の消費が継続するなど、依然として厳しい環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、異業種参入、業務・資本提携やM & A等の生き残りをかけた業界再編の動きが加速する中、消費の低迷、出店競争や価格競争の波を受け、業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況となっております。

このような状況下におきまして、当社グループは「ドラッグ&調剤」を中心としたビジネスモデルの推進に注力するとともに、お客様のニーズに対応する商品戦略の推進や販促強化等による売上高増加を図ることで既存店も好調に推移するとともに、販売管理費等のコスト削減にも取り組んでまいりました。

店舗の出店・閉店につきましては、新規31店舗を出店、閉店6店舗となり、当第2四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数は721店舗となりました。

(単位：店)

	前期末店舗数 (平成23年8月31日)	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (平成24年2月29日)
ウエルシア関東 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	385 (304) (310)	16	2	399 (307) (328)
高田薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	120 (70) (64)	7	3	124 (69) (71)
寺島薬局 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	123 (70) (85)	5	1	127 (75) (89)
イレブン (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	68 (23) (47)	3	-	71 (24) (50)
合計 (内、調剤取扱店) (内、深夜営業店)	696 (467) (506)	31	6	721 (475) (538)

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区分	金額（百万円）	前年同期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	34,455	101.0
調剤	14,320	129.9
化粧品	26,053	107.9
家庭用雑貨	20,875	108.9
食品	33,403	114.8
その他	12,580	108.4
合計	141,689	109.7

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は141,689百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益5,463百万円（同18.3%増）、経常利益5,752百万円（同17.6%増）、四半期純利益2,646百万円（同38.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して2,563百万円増加し、108,834百万円となりました。これは主に、商品が2,152百万円、有形固定資産が4,113百万円増加したものの、現金及び預金が2,676百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して133百万円増加し、69,055百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、未払金が増加し、未払法人税等が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して2,430百万円増加し、39,779百万円となりました。これは主に、配当金335百万円の支払による減少に対し、四半期純利益2,646百万円を計上したことによるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、8,759百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,245百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、878百万円（前年同期比1.8%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5,730百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費1,771百万円、主な減少要因としてたな卸資産の増加額2,176百万円、法人税等の支払額3,740百万円があったこと等によるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用された資金は、4,896百万円（前年同期比108.9%増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入490百万円に対して、有形固定資産の取得による支出4,634百万円、敷金の差入による支出828百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は、1,771百万円(前年同期2,168百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額2,844百万円、長期借入れによる収入2,240百万円に対して、長期借入金の返済による支出2,183百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出684百万円があったこと等によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	61,868,400
計	61,868,400

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年2月29日)	提出日現在発行数(株) (平成24年4月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,496,167	18,496,167	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 であります。
計	18,496,167	18,496,167	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年12月1日～ 平成24年2月29日	-	18,496,167	-	1,000	-	250

## (6) 【大株主の状況】

平成24年2月29日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	5,398	29.19
高田隆右	静岡県静岡市葵区	1,049	5.68
鈴木アサ子	埼玉県春日部市	858	4.64
株式会社ツルハ	北海道札幌市東区北二十四条東20丁目1-21	708	3.83
グローウェルホールディングス 従業員持株会	東京都千代田区神田須田町1丁目9番地 神 田須田町プレイス3階	640	3.46
榎屋茂康	大阪府堺市南区	554	3.00
株式会社榎屋総研	大阪府和泉市室堂町1723番地	541	2.93
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	538	2.91
有限会社榎屋	大阪府和泉市室堂町1723番地	526	2.85
鈴木孝之	埼玉県春日部市	491	2.66
計		11,309	61.15

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 19,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,342,900	183,429	-
単元未満株式	普通株式 133,667	-	-
発行済株式総数	18,496,167	-	-
総株主の議決権	-	183,429	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式55株、自己保有株式67株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) グローウェルホール ディングス株式会社	東京都千代田区神田須田町 1丁目9番地 神田須田町プレイス3階	19,600	-	19,600	0.11
計	-	19,600	-	19,600	0.11



## 2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年12月1日から平成24年2月29日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年9月1日から平成24年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,591	8,914
売掛金	5,347	5,715
商品	28,398	30,550
その他	4,445	4,162
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	49,778	49,340
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	16,269	19,307
土地	6,320	6,638
リース資産（純額）	5,865	6,763
その他（純額）	1,394	1,254
有形固定資産合計	29,850	33,963
<b>無形固定資産</b>		
のれん	9,522	8,835
その他	662	705
無形固定資産合計	10,185	9,541
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	13,053	13,065
破産更生債権等	70	69
その他	3,420	2,941
貸倒引当金	86	86
投資その他の資産合計	16,457	15,989
<b>固定資産合計</b>	56,492	59,494
<b>資産合計</b>	106,271	108,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,363	33,004
短期借入金	6,725	9,757
未払金	3,183	2,247
未払法人税等	3,735	2,144
賞与引当金	421	443
ポイント引当金	2,345	2,117
その他	3,882	3,737
流動負債合計	53,658	53,452
固定負債		
社債	20	-
長期借入金	7,681	7,550
退職給付引当金	586	565
役員退職慰労引当金	1,425	1,471
資産除去債務	1,663	1,772
その他	3,886	4,243
固定負債合計	15,263	15,602
負債合計	68,922	69,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	17,725	17,725
利益剰余金	17,479	19,790
自己株式	33	37
株主資本合計	36,171	38,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	20
その他の包括利益累計額合計	14	20
少数株主持分	1,163	1,280
純資産合計	37,349	39,779
負債純資産合計	106,271	108,834

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	129,144	141,689
売上原価	91,743	100,181
売上総利益	37,401	41,508
販売費及び一般管理費	32,781	36,044
営業利益	4,619	5,463
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	9
協賛金収入	92	77
その他	333	361
営業外収益合計	435	448
営業外費用		
支払利息	102	80
その他	61	78
営業外費用合計	163	159
経常利益	4,891	5,752
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	-
移転補償金	4	-
退職給付制度改定益	-	73
その他	0	3
特別利益合計	6	77
特別損失		
店舗閉鎖損失	16	3
固定資産除却損	11	25
投資有価証券評価損	1	-
減損損失	171	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	791	-
リース解約損	-	27
その他	45	3
特別損失合計	1,037	98
税金等調整前四半期純利益	3,861	5,730
法人税、住民税及び事業税	2,235	2,132
法人税等調整額	342	828
法人税等合計	1,892	2,961
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	2,769
少数株主利益	53	122
四半期純利益	1,914	2,646

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,968	2,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	5
その他の包括利益合計	12	5
四半期包括利益	1,981	2,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,927	2,652
少数株主に係る四半期包括利益	53	122

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,861	5,730
減価償却費	1,458	1,771
減損損失	171	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	791	-
のれん償却額	690	687
貸倒引当金の増減額（は減少）	0	0
賞与引当金の増減額（は減少）	3	22
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	25	45
退職給付引当金の増減額（は減少）	25	21
ポイント引当金の増減額（は減少）	194	228
受取利息及び受取配当金	9	9
支払利息	102	80
投資有価証券売却損益（は益）	0	-
投資有価証券評価損益（は益）	1	-
固定資産除却損	11	25
固定資産受贈益	25	60
売上債権の増減額（は増加）	347	368
たな卸資産の増減額（は増加）	1,643	2,176
仕入債務の増減額（は減少）	1,912	358
未払消費税等の増減額（は減少）	173	107
その他	256	565
小計	3,474	4,508
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	101	81
法人税等の支払額	2,591	3,740
法人税等の還付額	72	182
営業活動によるキャッシュ・フロー	863	878
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	322	60
定期預金の払戻による収入	780	490
有形固定資産の取得による支出	2,057	4,634
無形固定資産の取得による支出	86	142
保険積立金の解約による収入	-	220
敷金の差入による支出	688	828
敷金の回収による収入	88	88
その他	56	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,343	4,896

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	879	2,844
長期借入れによる収入	500	2,240
長期借入金の返済による支出	2,600	2,183
社債の償還による支出	172	100
配当金の支払額	293	335
少数株主への配当金の支払額	4	4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	473	684
自己株式の取得による支出	0	4
その他	1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,168	1,771
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,649	2,245
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	3	-
現金及び現金同等物の期首残高	10,810	11,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,164	8,759



## 【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
(会計方針の変更) 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。 第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。 なお、これによる影響については、「1株当たり情報に関する注記」に記載しております。

## 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

## (四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。
従業員給料 12,717百万円	従業員給料 14,195百万円
賞与引当金繰入額 388百万円	賞与引当金繰入額 413百万円
退職給付費用 121百万円	退職給付費用 162百万円
役員退職慰労引当金繰入額 45百万円	役員退職慰労引当金繰入額 47百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年2月28日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年2月29日現在)
現金及び預金勘定 8,058百万円	現金及び預金勘定 8,914百万円
預入期間3ヶ月超の定期預金 893百万円	預入期間3ヶ月超の定期預金 155百万円
現金及び現金同等物 7,164百万円	現金及び現金同等物 8,759百万円

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年9月1日至平成23年2月28日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年10月15日 取締役会	普通株式	293	17.50	平成22年8月31日	平成22年11月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月14日 取締役会	普通株式	293	17.50	平成23年2月28日	平成23年5月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	335	20.00	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月13日 取締役会	普通株式	369	20.00	平成24年2月29日	平成24年5月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	103円61銭	143円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,914	2,646
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,914	2,646
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,479	18,476

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成23年9月1日付で株式1株につき1.1株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

この適用により、第1四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

1株当たり四半期純利益金額                      113円97銭

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第4期（平成23年9月1日から平成24年8月31日）中間配当については、平成24年4月13日開催の取締役会において、平成24年2月29日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	369百万円
1株当たりの金額	20円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年5月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年4月11日

グローウェルホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岸 洋 平

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 廣 田 剛 樹

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 有 川 勉

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグローウェルホールディングス株式会社の平成23年9月1日から平成24年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年12月1日から平成24年2月29日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年9月1日から平成24年2月29日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グローウェルホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年2月29日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。